

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年10月29日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

ピクテ・バイオ医薬品 ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなしコース

運用報告書(全体版)

第82期(決算日2017年11月13日) 第85期(決算日2018年2月13日)
第83期(決算日2017年12月13日) 第86期(決算日2018年3月13日)
第84期(決算日2018年1月15日) 第87期(決算日2018年4月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなしコース」は、2018年4月13日に第87期の決算を行いましたので、第82期から第87期までの運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 0120-56-1805

受付時間：委託者の営業日午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

■最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式 組入比率	純資産 総額	
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	百万円	
第17 作成期	58期(2015年11月13日)	23,034	130	6.8	55,632	5.9	98.3	16,406
	59期(2015年12月14日)	22,569	130	△ 1.5	54,798	△ 1.5	98.2	16,364
	60期(2016年 1 月13日)	20,783	130	△ 7.3	49,490	△ 9.7	97.5	15,266
	61期(2016年 2 月15日)	17,446	130	△15.4	40,322	△18.5	97.1	12,948
	62期(2016年 3 月14日)	18,378	130	6.1	42,280	4.9	95.9	13,444
	63期(2016年 4 月13日)	18,196	130	△ 0.3	42,497	0.5	95.7	13,571
第18 作成期	64期(2016年 5 月13日)	16,826	130	△ 6.8	38,884	△ 8.5	95.8	12,995
	65期(2016年 6 月13日)	17,332	130	3.8	40,374	3.8	96.9	13,576
	66期(2016年 7 月13日)	17,221	130	0.1	40,425	0.1	96.6	13,631
	67期(2016年 8 月15日)	17,461	130	2.1	42,087	4.1	98.6	13,687
	68期(2016年 9 月13日)	17,004	130	△ 1.9	41,387	△ 1.7	98.2	13,223
	69期(2016年10月13日)	16,368	130	△ 3.0	40,061	△ 3.2	94.8	12,882
第19 作成期	70期(2016年11月14日)	17,255	130	6.2	43,823	9.4	97.7	13,926
	71期(2016年12月13日)	17,396	200	2.0	43,636	△ 0.4	96.3	16,848
	72期(2017年 1 月13日)	18,024	200	4.8	45,517	4.3	97.5	19,884
	73期(2017年 2 月13日)	18,033	200	1.2	45,962	1.0	99.1	21,361
	74期(2017年 3 月13日)	18,901	200	5.9	48,950	6.5	97.2	21,093
	75期(2017年 4 月13日)	17,163	200	△ 8.1	44,538	△ 9.0	98.6	19,755
第20 作成期	76期(2017年 5 月15日)	18,110	200	6.7	47,109	5.8	98.5	22,585
	77期(2017年 6 月13日)	17,404	200	△ 2.8	45,736	△ 2.9	98.2	22,759
	78期(2017年 7 月13日)	18,655	200	8.3	50,481	10.4	99.1	22,581
	79期(2017年 8 月14日)	17,167	200	△ 6.9	47,615	△ 5.7	97.2	21,210
	80期(2017年 9 月13日)	18,598	200	9.5	52,393	10.0	97.1	24,217
	81期(2017年10月13日)	18,746	200	1.9	53,706	2.5	99.3	23,855
第21 作成期	82期(2017年11月13日)	17,033	200	△ 8.1	50,381	△ 6.2	97.9	22,819
	83期(2017年12月13日)	17,132	200	1.8	51,049	1.3	98.3	25,529
	84期(2018年 1 月15日)	17,548	200	3.6	52,942	3.7	97.8	29,363
	85期(2018年 2 月13日)	16,308	200	△ 5.9	49,771	△ 6.0	97.1	28,394
	86期(2018年 3 月13日)	16,183	200	0.5	51,976	4.4	98.0	30,423
	87期(2018年 4 月13日)	15,340	200	△ 4.0	48,837	△ 6.0	97.6	31,633

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 参考指数は、ナスダック・パイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2004年10月29日)を10,000として指数化したものです。

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		円	騰落率		騰落率	
第82期	(期首)2017年10月13日	18,746	—	53,706	—	99.3
	10月末	17,631	△5.9	50,838	△5.3	97.2
	(期末)2017年11月13日	17,233	△8.1	50,381	△6.2	97.9
第83期	(期首)2017年11月13日	17,033	—	50,381	—	97.9
	11月末	16,767	△1.6	49,468	△1.8	96.3
	(期末)2017年12月13日	17,332	1.8	51,049	1.3	98.3
第84期	(期首)2017年12月13日	17,132	—	51,049	—	98.3
	12月末	17,379	1.4	51,897	1.7	96.3
	(期末)2018年1月15日	17,748	3.6	52,942	3.7	97.8
第85期	(期首)2018年1月15日	17,548	—	52,942	—	97.8
	1月末	17,881	1.9	53,926	1.9	96.4
	(期末)2018年2月13日	16,508	△5.9	49,771	△6.0	97.1
第86期	(期首)2018年2月13日	16,308	—	49,771	—	97.1
	2月末	16,120	△1.2	50,357	1.2	98.1
	(期末)2018年3月13日	16,383	0.5	51,976	4.4	98.0
第87期	(期首)2018年3月13日	16,183	—	51,976	—	98.0
	3月末	15,350	△5.1	48,291	△7.1	97.0
	(期末)2018年4月13日	15,540	△4.0	48,837	△6.0	97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

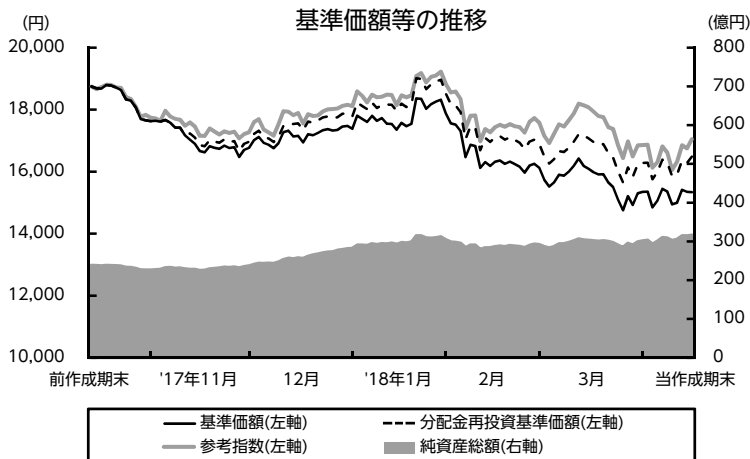
(注3) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2004年10月29日)を10,000として指数化したものです。

■当作成期中の運用状況と今後の運用方針 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当作成期の分配金再投資基準価額*は、12.1%の下落となりました。

* 「分配金再投資基準価額」は、購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。以下同じ。



○基準価額の高値・安値

決算期	期首	期中高値	期中安値	期末
第82期	17/10/13	17/10/18	17/11/10	17/11/13
	18,746円	18,796円	17,172円	17,233円
第83期	17/11/13	17/12/13	17/11/28	17/12/13
	17,033円	17,332円	16,474円	17,332円
第84期	17/12/13	18/1/4	17/12/15	18/1/15
	17,132円	17,807円	16,943円	17,748円
第85期	18/1/15	18/1/23	18/2/9	18/2/13
	17,548円	18,364円	16,120円	16,508円
第86期	18/2/13	18/3/12	18/3/2	18/3/13
	16,308円	16,421円	15,519円	16,383円
第87期	18/3/13	18/3/14	18/3/26	18/4/13
	16,183円	16,092円	14,756円	15,540円

*参考指数は前作成期末の基準価額に合わせて指数化しています。

(注) 各期末の基準価額は分配金込みです。

◇主な変動要因

下落↓ ・実質的に組入れているセルジーン (米国) やバイオジェン (米国) などの株価が下落したこと

下落↓ ・円に対して米ドルが下落したこと

2. 投資環境

- ・バイオ医薬品関連株式市場は、作成期初にセルジーン (米国) がクローン病治療薬候補の開発中止発表や期待はずれとなった2017年第3四半期決算を嫌気して大幅下落したことが全体の重しとなり軟調に推移しました。その後2017年末にかけては米国の税制改革法案によってM&A (買収・合併) が活発化するとの期待感から値を戻す展開となりました。2018年1月には、バイオ医薬品関連企業のM&A報道が相次ぎ一段高となったものの、2月以降は金利の急速な上昇や米中の貿易戦争などに対する懸念などが市場のリスク回避姿勢を強め、下落基調で推移しました。こうした環境の中、バイオ医薬品関連株式市場は作成期を通じては下落しました。
- ・為替市場では、作成期初から2017年末にかけては日銀の金融緩和姿勢の変更を巡る思惑が一時円高圧力となったものの、日本の衆議院選で与党が勝利したことや米国における税制改革法案などに対する期待から米ドル高・円安となりました。2018年1月以降は、日銀の超長期ゾーンの買いオペが予想外の減額となったことが金融引き締め兆しと見られたことや、米財務長官がドル安は米国にとって良いことであると発言したことなどを背景に急速に円高が進行し、期を通じては円に対して米ドルは下落しました。

3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【前作成期末】

国・地域名	組入比率
米国	83.3%
アイルランド	4.0%
スイス	3.8%
英国	3.4%
デンマーク	3.0%
スペイン	1.0%
オランダ	0.8%
中国	0.4%

【当作成期末】

国・地域名	組入比率
米国	84.4%
デンマーク	3.0%
スイス	2.9%
アイルランド	2.7%
スペイン	2.0%
英国	1.0%
ケイマン諸島	0.9%
中国	0.5%
フランス	0.5%

国・地域別では、米国などの比率が上昇しました。一方で、英国などの比率が低下しました。

◇業種別組入比率

【前作成期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	72.7%
医薬品	22.5%
ライフサイエンス関連	4.5%

【当作成期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	70.5%
医薬品	22.4%
ライフサイエンス関連	4.1%
ヘルスケア機器・用品	1.0%

業種別では、バイオテクノロジーや医薬品などに投資しました。

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【前作成期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	9.9%
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	9.5%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	9.4%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	9.3%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.5%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	4.4%
マイラン	米国	医薬品	4.1%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	3.9%
ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	3.8%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	3.7%

【当作成期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	9.4%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	9.1%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	9.0%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	6.2%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.3%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	5.0%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.9%
マイラン	米国	医薬品	4.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	3.6%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	3.1%



(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

当作成期末の組入上位銘柄は、

- － セルジーン : がん領域や免疫・炎症関連疾患などを中心に治療薬の発見や開発、商品化を行う。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － バイオジェン : 神経学、腫瘍学、免疫学などを中心とした新薬の開発、製造、販売を行う。
- － ジャズ・ファーマシューティカルズ : 居眠り病、血液・腫瘍関連の治療薬や鎮痛剤などの製品を持つバイオ医薬品企業。医薬品の開発、商品化などを手がける。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。

などとなりました。

4. 収益分配金

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金の計算過程につきましては、12ページをご覧ください。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	自 2017年10月14日 至 2017年11月13日	自 2017年11月14日 至 2017年12月13日	自 2017年12月14日 至 2018年1月15日	自 2018年1月16日 至 2018年2月13日	自 2018年2月14日 至 2018年3月13日	自 2018年3月14日 至 2018年4月13日
当期分配金	200	200	200	200	200	200
(対基準価額比率)	1.161	1.154	1.127	1.212	1.221	1.287
当期の収益	—	11	8	—	9	5
当期の収益以外	200	188	191	200	190	194
翌期繰越分配対象額	20,559	20,370	20,180	19,980	19,790	19,597

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見えています。今後、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などが株価動向に影響を与える可能性などに注視が必要と考えます。

(2) 投資方針

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わない方針です。

<マザーファンド>

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、バイオ医薬品業界内における多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、引き続き厳選した企業に対する投資を行う方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当作成期(第82期～第87期) (2017年10月14日～2018年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	16,854円	—	作成期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	172円 (91)	1.023% (0.539)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(73)	(0.431)	
(受託会社)	(9)	(0.054)	
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	0 (0)	0.003 (0.003)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式会社)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.013 (0.010)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	174	1.040	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

決算期	第82期～第87期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	2,374,678	12,402,350	320,151	1,690,410

(注) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第82期～第87期
(a) 過去6カ月の株式売買金額	40,320,310千円
(b) 過去6カ月の平均組入株式時価総額	31,088,216千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.29

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における主要な売買銘柄 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

株式

第82期～第87期							
買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CELGENE CORP(アメリカ)	184	2,027,113	11,004	BIOVERATIV INC(アメリカ)	222	2,491,922	11,213
BIOGEN INC(アメリカ)	52	1,714,299	32,498	AMGEN INC(アメリカ)	70	1,318,313	18,779
ALEXION PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	113	1,636,561	14,406	GW PHARMACEUTICALS -ADR(アメリカ)	68	878,063	12,874
GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	169	1,425,064	8,397	ARRAY BIOPHARMA INC(アメリカ)	376	620,587	1,649
REGENERON PHARMACEUTICALS(アメリカ)	32	1,330,390	40,659	ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR(アメリカ)	176	564,541	3,207
BIOVERATIV INC(アメリカ)	183	1,197,614	6,537	SHIRE PLC-ADR(アメリカ)	40	557,170	13,723
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC(アメリカ)	72	1,155,575	15,983	QIAGEN N.V.(アメリカ)	149	533,497	3,571
INCYTE CORP(アメリカ)	101	922,086	9,102	BIOGEN INC(アメリカ)	13	524,734	38,301
AMGEN INC(アメリカ)	41	815,490	19,674	GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	47	443,931	9,326
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR(アメリカ)	223	746,016	3,343	INSMED INC(アメリカ)	138	422,961	3,052

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■自社設定投資信託受益証券等の状況等 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

該当事項はありません。

■特定資産の価格等の調査 (2017年10月14日から2018年4月13日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2018年4月13日現在)

親投資信託残高

種類	第20作成期末 (第81期末)	第21作成期末 (第87期末)	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	4,193,472	6,248,000	31,486,171

(注) 単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成 (2018年4月13日現在)

項目	第21作成期末(第87期末)	
	評価額	比率
	千円	%
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	31,486,171	97.9
コール・ローン等、その他	672,962	2.1
投資信託財産総額	32,159,133	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産 (35,433,218千円) の投資信託財産総額 (36,106,598千円) に対する比率は98.1%です。

(注3) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおける外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=107.41円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年11月13日)、 (2017年12月13日)、 (2018年1月15日)、 (2018年2月13日)、 (2018年3月13日)、 (2018年4月13日)現在

項目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
(A)資産	23,196,240,076円	25,902,254,870円	29,825,579,393円	28,845,901,109円	30,869,448,021円	32,159,133,871円
産						
コール・ローン等	491,846,438	498,489,730	606,194,820	595,141,857	594,004,019	672,962,354
ピクテ・バイオ医薬品 マザーファンド(評価額)	22,704,393,638	25,403,765,140	29,219,384,573	28,250,759,252	30,275,444,002	31,486,171,517
(B)負債	376,397,509	372,480,414	462,512,810	451,793,783	446,240,196	525,602,856
債						
未払収益分配金	267,951,172	298,032,770	334,666,504	348,217,644	375,979,636	412,440,463
未払解約金	67,915,449	34,422,597	76,177,090	55,027,474	24,572,229	60,679,839
未払信託報酬	40,493,515	39,992,121	51,626,807	48,513,581	45,660,281	52,446,813
未払利息	1,347	1,365	1,660	1,630	1,627	1,843
その他未払費用	36,026	31,561	40,749	33,454	26,423	33,898
(C)純資産総額(A-B)	22,819,842,567	25,529,774,456	29,363,066,583	28,394,107,326	30,423,207,825	31,633,531,015
元本	13,397,558,603	14,901,638,549	16,733,325,209	17,410,882,242	18,798,981,830	20,622,023,179
次期繰越損益金	9,422,283,964	10,628,135,907	12,629,741,374	10,983,225,084	11,624,225,995	11,011,507,836
(D)受益権総口数	13,397,558,603口	14,901,638,549口	16,733,325,209口	17,410,882,242口	18,798,981,830口	20,622,023,179口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,033円	17,132円	17,548円	16,308円	16,183円	15,340円

<注記事項（当運用報告書作成時点では、監査未了です。）>

(貸借対照表関係)

(注1) 当ファンドの第82期首元本額は12,725,399,432円、第82～87期中追加設定元本額は9,736,627,451円、第82～87期中一部解約元本額は1,840,003,704円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第82期末1.7033円、第83期末1.7132円、第84期末1.7548円、第85期末1.6308円、第86期末1.6183円、第87期末1.5340円です。

■損益の状況

第82期(自2017年10月14日 至2017年11月13日) 第85期(自2018年1月16日 至2018年2月13日)
 第83期(自2017年11月14日 至2017年12月13日) 第86期(自2018年2月14日 至2018年3月13日)
 第84期(自2017年12月14日 至2018年1月15日) 第87期(自2018年3月14日 至2018年4月13日)

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(A)配当等収益	△ 26,440円	△ 17,247円	△ 21,847円	△ 24,235円	△ 19,360円	△ 19,115円
支払利息	△ 26,440	△ 17,247	△ 21,847	△ 24,235	△ 19,360	△ 19,115
(B)有価証券売買損益	△ 1,895,901,904	506,049,454	1,032,057,564	△ 1,749,858,939	221,766,988	△ 1,096,727,385
売買益	18,410,485	508,833,969	1,037,783,699	13,939,360	229,569,296	16,554,170
売買損	△ 1,914,312,389	△ 2,784,515	△ 5,726,135	△ 1,763,798,299	△ 7,802,308	△ 1,113,281,555
(C)信託報酬等	△ 40,525,473	△ 40,023,682	△ 51,667,556	△ 48,547,035	△ 45,686,704	△ 52,480,711
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 1,936,453,817	466,008,525	980,368,161	△ 1,798,430,209	176,060,924	△ 1,149,227,211
(E)前期繰越損益金	404,071,093	△ 1,781,106,503	△ 1,449,177,635	△ 465,721,879	△ 2,239,767,152	△ 2,055,972,392
(F)追加信託差損益金	11,222,617,860	12,241,266,655	13,433,217,352	13,595,594,816	14,063,911,859	14,629,147,902
(配当等相当額)	(27,407,998,775)	(30,501,761,627)	(34,087,384,863)	(35,135,463,779)	(37,560,701,875)	(40,812,327,441)
(売買損益相当額)	(△16,185,380,915)	(△18,260,494,972)	(△20,654,167,511)	(△21,539,868,963)	(△23,496,790,016)	(△26,183,179,539)
(G)計(D+E+F)	9,690,235,136	10,926,168,677	12,964,407,878	11,331,442,728	12,000,205,631	11,423,948,299
(H)収益分配金	△ 267,951,172	△ 298,032,770	△ 334,666,504	△ 348,217,644	△ 375,979,636	△ 412,440,463
次期繰越損益金(G+H)	9,422,283,964	10,628,135,907	12,629,741,374	10,983,225,084	11,624,225,995	11,011,507,836
追加信託差損益金	11,222,617,860	12,094,507,812	13,112,646,990	13,247,377,172	13,706,576,845	14,228,298,458
(配当等相当額)	(27,408,041,326)	(30,356,056,558)	(33,768,140,094)	(34,787,244,191)	(37,204,404,465)	(40,414,725,307)
(売買損益相当額)	(△16,185,423,466)	(△18,261,548,746)	(△20,655,493,104)	(△21,539,867,019)	(△23,497,827,620)	(△26,186,426,849)
分配準備積立金	136,119,921	-	-	-	-	-
繰越損益金	△ 1,936,453,817	△ 1,466,371,905	△ 482,905,616	△ 2,264,152,088	△ 2,082,350,850	△ 3,216,790,622

- (注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第82期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(27,408,041,326円)および分配準備積立金(404,071,093円)より分配対象収益は27,812,112,419円(10,000口当たり20,759円)であり、うち267,951,172円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注5) 第83期計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,607,753円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(30,502,815,401円)および分配準備積立金(134,666,174円)より分配対象収益は30,654,089,328円(10,000口当たり20,570円)であり、うち298,032,770円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注6) 第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,096,142円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(34,088,710,456円)より分配対象収益は34,102,806,598円(10,000口当たり20,380円)であり、うち334,666,504円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注7) 第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(35,135,461,835円)より分配対象収益は35,135,461,835円(10,000口当たり20,180円)であり、うち348,217,644円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注8) 第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(18,644,622円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(37,561,739,479円)より分配対象収益は37,580,384,101円(10,000口当たり19,990円)であり、うち375,979,636円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注9) 第87期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,591,019円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(40,815,574,751円)より分配対象収益は40,827,165,770円(10,000口当たり19,797円)であり、うち412,440,463円(10,000口当たり200円)を分配金額としています。
- (注10) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用は、当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.45%以内の額です。

＜分配金のお知らせ＞

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金および分配金の計算過程は以下の通りです。なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
1万口当たり分配金	200円	200円	200円	200円	200円	200円
費用控除後の配当等収益	0円	16,607,753円	14,096,142円	0円	18,644,622円	11,591,019円
費用控除後、繰越欠損金 補填後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
収益調整金	27,408,041,326円	30,502,815,401円	34,088,710,456円	35,135,461,835円	37,561,739,479円	40,815,574,751円
分配準備積立金	404,071,093円	134,666,174円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益 (1万口当たり)	27,812,112,419円 (20,759円)	30,654,089,328円 (20,570円)	34,102,806,598円 (20,380円)	35,135,461,835円 (20,180円)	37,580,384,101円 (19,990円)	40,827,165,770円 (19,797円)
分配金額 (1万口当たり)	267,951,172円 (200円)	298,032,770円 (200円)	334,666,504円 (200円)	348,217,644円 (200円)	375,979,636円 (200円)	412,440,463円 (200円)

- ◇ 分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは、各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇ 分配金は普通分配金に課税され、個人の受益者の場合、源泉徴収の税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。（原則として、確定申告は不要です。）
法人の受益者の場合、源泉徴収の税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。
（注）当作成期末現在で適用される内容であり、税制が改正された場合等は変更される場合があります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＜お知らせ＞

該当事項はありません。

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

運用状況のご報告

第18期（決算日：2018年4月13日）
（計算期間：2017年4月14日～2018年4月13日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド」は、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）円コース」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース」、「iTrustバイオ」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ（適格機関投資家専用）および「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）為替ヘッジなしコース」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。
主要投資対象	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率		
	円	%		%	%	百万円
14期(2014年4月14日)	35,014	44.8	21,918	31.2	95.4	16,489
15期(2015年4月13日)	61,967	77.0	43,130	96.8	95.8	15,612
16期(2016年4月13日)	44,666	△27.9	30,090	△30.2	98.5	14,282
17期(2017年4月13日)	48,068	7.6	31,535	4.8	99.0	22,125
18期(2018年4月13日)	50,394	4.8	34,579	9.7	98.0	36,087

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2017年4月13日	48,068	—	31,535	—	99.0
4月末	50,553	5.2	33,154	5.1	95.2
5月末	48,913	1.8	31,658	0.4	96.2
6月末	53,703	11.7	35,131	11.4	98.9
7月末	53,794	11.9	35,687	13.2	99.3
8月末	53,071	10.4	35,964	14.0	98.1
9月末	56,059	16.6	37,423	18.7	96.8
10月末	53,359	11.0	35,995	14.1	97.7
11月末	51,403	6.9	35,025	11.1	96.8
12月末	54,024	12.4	36,745	16.5	96.7
2018年1月末	56,335	17.2	38,182	21.1	96.9
2月末	51,469	7.1	35,655	13.1	98.6
3月末	49,710	3.4	34,192	8.4	97.5
(期末)					
2018年4月13日	50,394	4.8	34,579	9.7	98.0

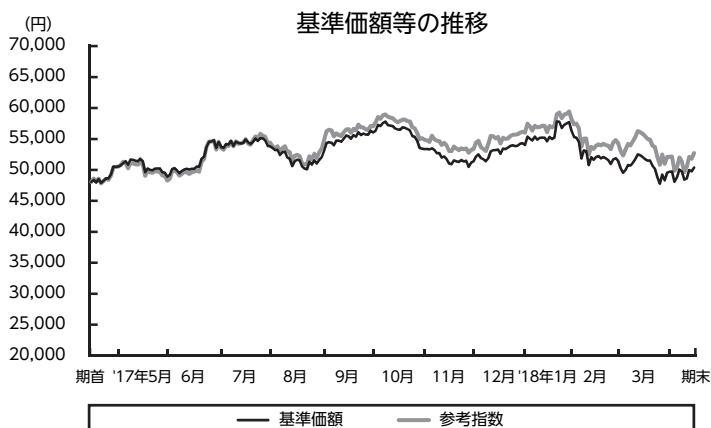
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2017年4月14日から2018年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、4.8%の上昇となりました。



○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
17/4/13	18/1/23	18/3/26	18/4/13
48,068円	57,839円	47,766円	50,394円

※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

【当期前半】

- 上昇↑ ・ 組入れているバイオジェン（米国）やギリアド・サイエンシズ（米国）などの株価が上昇したこと
- 上昇↑ ・ 円に対して米ドルが上昇したこと

【当期後半】

- 下落↓ ・ 組入れているセルジーン（米国）やバイオジェン（米国）などの株価が下落したこと
- 下落↓ ・ 円に対して米ドルが下落したこと

2. 投資環境

- ・ バイオ医薬品関連株式市場は、当期前半、主要バイオ医薬品企業の決算が概ね好調な内容であったことや、トランプ米大統領が署名した大統領令が医薬品業界に好意的であると受け止められたことなどを背景に上昇となりました。個別銘柄では、ギリアド・サイエンシズ（米国）によるカイト・ファーマ（米国）の買収が発表される中、M&A（企業の合併・買収）活動が再び注目を集め、細胞療法に特化する銘柄を中心に、多くの中小型株式が買われました。当期後半は、10月にセルジーン（米国）がクローン病治療薬候補の開発中止発表や期待はずれとなった2017年第3四半期決算

を嫌気して大幅下落したことが全体の重しとなり軟調に推移しました。その後2017年末にかけては米国の税制改革法案によってM&A（買収・合併）が活発化すると期待感から値を戻す展開となりました。2018年1月には、バイオ医薬品関連企業のM&A報道が相次ぎ一段高となったものの、2月以降は金利の急速な上昇や米中の貿易戦争などに対する懸念などが市場のリスク回避姿勢を強め、下落基調で推移しました。

- ・為替市場は、当期前半、米国の一部経済指標が軟調な内容であったことや、トランプ米大統領の選挙戦へのロシアの関与を巡る疑惑、北朝鮮情勢への懸念などを背景に円高・ドル安となる局面もありました。一方、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、10月から米連邦準備制度理事会（FRB）の保有資産縮小に着手すると決定されたことや従来の利上げ予測が維持されたこと、9月末にトランプ政権が米税制改革案を公表したことなどを背景にドルが買われ、円安・ドル高となりました。当期後半は、2017年末にかけては日銀の金融緩和姿勢の変更を巡る思惑が一時円高圧力となったものの、日本の衆議院選で与党が勝利したことや米国における税制改革法案などに対する期待から米ドル高・円安となりました。2018年1月以降は、日銀の超長期ゾーンの買いオペが予想外の減額となったことが金融引き締めの兆しと見られたことや、米財務長官がドル安は米国にとって良いことであると発言したことなどを背景に急速に円高が進行し、円に対して米ドルは下落しました。

3. 組入状況

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	83.3%
アイルランド	5.2%
スイス	4.1%
スペイン	2.5%
デンマーク	2.3%
中国	1.0%
オランダ	0.7%



【期末】

国・地域名	組入比率
米国	84.4%
デンマーク	3.0%
スイス	2.9%
アイルランド	2.7%
スペイン	2.0%
英国	1.0%
ケイマン諸島	0.9%
中国	0.5%
フランス	0.5%

国・地域別では、米国などの比率が上昇しました。一方で、アイルランドなどの比率が低下しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	73.7%
医薬品	20.0%
ライフサイエンス関連	5.3%

【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	70.5%
医薬品	22.4%
ライフサイエンス関連	4.1%
ヘルスケア機器・用品	1.0%

業種別では、バイオテクノロジーや医薬品などに投資しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	9.5%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	9.4%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	9.3%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	9.3%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	5.4%
シャイアー	アイルランド	バイオテクノロジー	4.8%
マイラン	米国	医薬品	4.6%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	4.5%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.3%
ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	4.1%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	9.4%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	9.1%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	9.0%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	6.2%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.3%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	5.0%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.9%
マイラン	米国	医薬品	4.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	3.6%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	3.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- － セルジーン : がん領域や免疫・炎症関連疾患などを中心に治療薬の発見や開発、商品化を行う。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － バイオジェン : 神経学、腫瘍学、免疫学などを中心とした新薬の開発、製造、販売を行う。
- － ジャズ・ファーマシューティカルズ : 居眠り病、血液・腫瘍関連の治療薬や鎮痛剤などの製品を持つバイオ医薬品企業。医薬品の開発、商品化などを手がける。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。

などとなりました。

4. 今後の運用方針

(1) 投資環境

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見えています。今後、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などが株価動向に影響を与える可能性などに注視が必要と考えます。

(2) 投資方針

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、バイオ医薬品業界内における多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、引き続き厳選した企業に対する投資を行う方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2017年4月14日~2018年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	52,699円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2円 (2)	0.004% (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	11 (9) (2)	0.022 (0.018) (0.004)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理等に要する費用
合計	14	0.028	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買および取引の状況（2017年4月14日から2018年4月13日まで）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 69,618	千米ドル 305,111	百株 39,325	千米ドル 188,071

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	54,085,566千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,864,634千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.94

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■主要な売買銘柄 (2017年4月14日から2018年4月13日まで)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CELGENE CORP(アメリカ)	214	2,447,556	11,415	BIOVERATIV INC(アメリカ)	223	2,502,817	11,182
BIOGEN INC(アメリカ)	64	2,076,544	32,134	AMGEN INC(アメリカ)	80	1,515,414	18,848
GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	213	1,765,951	8,267	GW PHARMACEUTICALS -ADR(アメリカ)	72	919,347	12,733
ALEXION PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	121	1,756,619	14,410	GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	90	803,038	8,873
REGENERON PHARMACEUTICALS(アメリカ)	37	1,570,484	41,723	BIOGEN INC(アメリカ)	22	792,382	35,773
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC(アメリカ)	87	1,399,746	16,089	SHIRE PLC-ADR(アメリカ)	51	759,138	14,769
BIOVERATIV INC(アメリカ)	202	1,303,176	6,444	ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR(アメリカ)	204	665,578	3,259
AMGEN INC(アメリカ)	63	1,238,292	19,363	ARRAY BIOPHARMA INC(アメリカ)	376	620,587	1,649
GW PHARMACEUTICALS -ADR(アメリカ)	99	1,176,673	11,778	QIAGEN N.V.(アメリカ)	158	557,512	3,523
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR(アメリカ)	293	994,397	3,390	GRIFOLS SA-ADR(アメリカ)	235	543,461	2,312

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2017年4月14日から2018年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■特定資産の価格等の調査 (2017年4月14日から2018年4月13日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2018年4月13日現在)

外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…米国店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	—	1,359	2,621	281,576	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCELERON PHARMA INC	324	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACORDA THERAPEUTICS INC	815	1,383	3,243	348,345	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	162	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AKORN INC	859	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALDER BIOPHARMACEUTICALS INC	935	2,879	4,131	443,749	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	454	1,473	16,402	1,761,837	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	153	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	1,156	992	16,965	1,822,267	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOGEN INC	708	1,132	30,295	3,253,993	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIO-TECHNE CORP	260	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOERATIV INC	216	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CELGENE CORP	1,550	3,534	31,718	3,406,924	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA BIOLOGIC PRODUCTS INC	189	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CLOVIS ONCOLOGY INC	—	282	1,732	186,099	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DBV TECHNOLOGIES SA-SPON ADR	—	722	1,736	186,471	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EAGLE PHARMACEUTICALS INC	—	617	3,215	345,343	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXELIXIS INC	—	670	1,396	150,046	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	234	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GW PHARMACEUTICALS -ADR	—	277	3,393	364,498	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GENOMIC HEALTH INC	—	1,066	3,538	380,022	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILEAD SCIENCES INC	2,844	4,075	30,686	3,296,050	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GRIFOLS SA-ADR	2,532	3,223	6,781	728,367	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
H LUNDBECK A/S-SPN ADR	951	1,793	10,223	1,098,147	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	—	1,013	7,073	759,794	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INSMED INC	1,245	651	1,552	166,768	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INNOVIVA INC	—	2,241	3,941	423,401	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTERCEPT PHARMACEUTICALS IN	170	532	3,766	404,509	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTRACELLULAR THERAPIES INC	—	695	1,413	151,837	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	2,288	3,001	5,173	555,709	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JUNO THERAPEUTICS INC	396	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LEXICON PHARMACEUTICALS INC	615	4,153	3,476	373,408	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LIGAND PHARMACEUTICALS	354	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDICINES COMPANY	—	1,008	3,082	331,087	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDPACE HOLDINGS INC	—	468	1,732	186,091	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOMENTA PHARMACEUTICALS INC	1,490	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MYRIAD GENETICS INC	1,177	559	1,626	174,722	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NEKTAR THERAPEUTICS	954	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
OPKO HEALTH INC	—	5,140	1,547	166,178	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PRA HEALTH SCIENCES INC	1,068	1,405	12,140	1,304,022	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・米国店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
PTC THERAPEUTICS INC	—	501	1,380	148,307	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PACIRA PHARMACEUTICALS INC	—	501	1,730	185,921	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	265	517	1,680	180,455	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PUMA BIOTECHNOLOGY INC	—	196	1,315	141,261	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RADIUS HEALTH INC	539	1,023	3,650	392,053	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	236	552	17,967	1,929,853	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR	2,592	3,483	9,884	1,061,745	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SAGE THERAPEUTICS INC	159	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	676	429	3,552	381,579	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SHIRE PLC-ADR	564	463	7,324	786,757	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SPARK THERAPEUTICS INC	—	263	2,064	221,781	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	851	757	3,485	374,429	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TESARO INC	—	279	1,512	162,423	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL INC	—	668	3,669	394,193	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITED THERAPEUTICS CORP	751	953	10,560	1,134,298	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	114	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MYLAN NV	2,479	3,546	14,634	1,571,866	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALKERMES PLC	151	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA BIOLOGIC PRODUCTS HOLD	—	207	1,775	190,675	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	725	1,323	20,699	2,223,350	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVOCURE LTD	—	1,486	3,254	349,548	ヘルスケア機器・サービス
PROTHENA CORP PLC	171	444	1,669	179,314	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
THERAVANCE BIOPHARMA INC	—	1,256	2,871	308,397	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
QIAGEN N.V.	523	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	34,905 42	65,198 48	329,294 —	35,369,487 <98.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) —印は組入れがありません。

■投資信託財産の構成 (2018年4月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 35,369,487	% 98.0
コール・ローン等、その他	737,111	2.0
投資信託財産総額	36,106,598	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (35,433,218千円) の投資信託財産総額 (36,106,598千円) に対する比率は98.1%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=107.41円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年4月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	36,106,598,767円
コール・ローン等	695,363,929
株式(評価額)	35,369,487,838
未収配当金	41,747,000
(B)負債	19,463,755
未払解約金	19,450,000
未払利息	1,842
その他未払費用	11,913
(C)純資産総額(A-B)	36,087,135,012
元本	7,161,025,382
次期繰越損益金	28,926,109,630
(D)受益権総口数	7,161,025,382口
1万口当たり基準価額(C/D)	50,394円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	4,602,963,350円
期中追加設定元本額	4,095,762,363円
期中一部解約元本額	1,537,700,331円
(注2) 1口当たり純資産額	5.0394円
(注3) 期末における元本の内訳	
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	6,248,000,063円
ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ(適格機関投資家専用)	339,208,661円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)為替ヘッジなしコース	263,432,649円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)円コース	249,987,428円
iTrust/バイオ	60,396,581円

■損益の状況

当期(自2017年4月14日 至2018年4月13日)

項目	当期
(A)配当等収益	203,367,930円
受取配当金	201,771,549
受取利息	334,678
その他収益金	1,854,498
支払利息	△ 592,795
(B)有価証券売買損益	581,299,347
売買益	4,684,575,565
売買損	△ 4,103,276,218
(C)その他費用等	△ 6,183,728
(D)当期損益金(A+B+C)	778,483,549
(E)前期繰越損益金	17,522,670,694
(F)追加信託差損益金	17,330,777,637
(G)解約差損益金	△ 6,705,822,250
(H)計(D+E+F+G)	28,926,109,630
次期繰越損益金(H)	28,926,109,630

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

投資対象となる投資信託証券について、投資制限の範囲に係る規定を明確化するため、所要の約款変更を行いました。